

苅田町ボッチャ大会ルールについて

ボッチャとは…ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。パラリンピックの正式種目にもなっています。

【ルール】

赤チームと**青チーム**に分かれ、1 チーム 6 人(追加で 2 人まで補欠を認めます)で編成します。

赤チーム・青チームがそれぞれ 6 個のカラーボールを使用します。

- ① 最初にキャプテン同士でじゃんけんを行い、先攻と後攻を決めます。
 - ② この試合中、**先攻が赤チーム**、**後攻が青チーム**となります。
 - ③ 試合開始となる第 1 エンドは**赤チームが先攻**となります。
 - ④ ジャックボールを**先攻の赤チーム**が投げます。
 - ⑤ 続けてジャックボールを投じた**赤チーム人が赤いカラーボール**を投げます。
 - ⑥ 後攻の**青チームが青いカラーボール**を投げます。
 - ⑦ それ以降は、ジャックボールから遠いチームがカラーボールを投げ合います。
 - ⑧ **赤・青**とも 6 球ずつ投じた時点で**得点を計算します**。
- この一連の流れを 1 エンドとし、予選は 4 エンド、決勝トーナメントでは 6 エンド行います。

全エンド終了後、**合計点が高いチームの勝利**です。合計得点と同じ場合は、予選は引き分け、決勝トーナメントではタイブレークを行います。

※タイブレークとは、じゃんけん**先攻後攻**を決め、競技コート中心のクロスにジャックボールを置いた状態で通常と同じく各 6 球のボールを投げて勝敗をきめるものです。このとき、タイブレーク以前の試合で決まったスローイングボックス及びカラーボールはそのままタイブレークを行います。

タイブレークでも同点の場合は、**先攻後攻**を入れ替えて再度タイブレークを行います。

【投球について】

①ジャックボールの投球順は以下となります。

第 1 エンド: 赤が先攻	第 1 スローイングボックス	第 4 エンド: 青が先攻	第 4 スローイングボックス
第 2 エンド: 青が先攻	第 2 スローイングボックス	第 5 エンド: 赤が先攻	第 5 スローイングボックス
第 3 エンド: 赤が先攻	第 3 スローイングボックス	第 6 エンド: 青が先攻	第 6 スローイングボックス

図1 スローイングボックス

競技コート					
赤 ●● 第 1 スローイング ボックス	青 ●● 第 2 スローイング ボックス	赤 ●● 第 3 スローイング ボックス	青 ●● 第 4 スローイング ボックス	赤 ●● 第 5 スローイング ボックス	青 ●● 第 6 スローイング ボックス

※各スローイングボックスには、図 1 のとおりカラーボールを 2 球ずつ配置し、競技中は投球以外でそのスローイングボックスからカラーボールを持ち出すことはできません。

②ジャックボールを主審から受け取り、主審の合図が出てから投球を開始します。

※ジャックボールが無効エリアで停止した場合、次のエンドで投げる予定の選手に投球権が移り、有効となるまで、これを繰り返します。なお、次のエンドの投球順は変わりません。

※有効となったジャックボールが、競技中にコート外にはじき出された場合、ジャックボールはコート中央のクロスに置きなおします。

③ジャックボールが有効となった後、ジャックボールを投げた選手が、続けて自チームのカラーボールを投球します。その後、相手サイドの選手が投球します。以降、ジャックボールから遠いチームが投球します。

④2投目以降のチーム内の投球順は、キャプテンの指示のもと、自由に決めることができます。ただし、各エンドに出場する選手は、1 人 1 球ずつ投球してください。また、エンド途中で選手のスローイングボックス間の移動及び補欠との交代はできません。

⑤投球する選手以外は、投球を妨げないよう、各自のスローイングボックス内の後方で待機してください。

⑥エンド終了後、主審による得点が発表されたら、選手がカラーボールを回収し、図 1 のとおりカラーボールを再配置します。

※投球する選手は、投球前にコート内に入って、ボールの状況を見ることができます。ただし、すでに投球されたボールを触ったり、選手がプレイングエリア内にいる状態で投球した場合、反則となります。

【注意事項】

○つぎの場合、投球したカラーボールは無効球となりコートから取り除かれます。

- ・投球したカラーボールがコート外周ラインに触れた状態で停止する。
- ・投球したカラーボールがコート外に出た。
- ・投球時に選手がラインを踏んだ状態(ラインクロス)で投げた。

○つぎの行為は反則となり、相手チームに 1 球のパナルティボールが課されます。

- ・選手が自チームの投球番でないときに、プレイングエリアに入った場合。
- ・エンドが終了する前に、誤ってコート上のボールに触れた場合。
- ・正当な理由なく試合を遅延させた場合。
- ・審判の判断に従わない場合。
- ・相手サイドの投球番の時に投球してしまった場合。

※パナルティボールとは、すべての投球が終わり、そのエンドの点数計算が行われた後に、すべてのボールを回収したうえで、そのエンドの最後に行います。

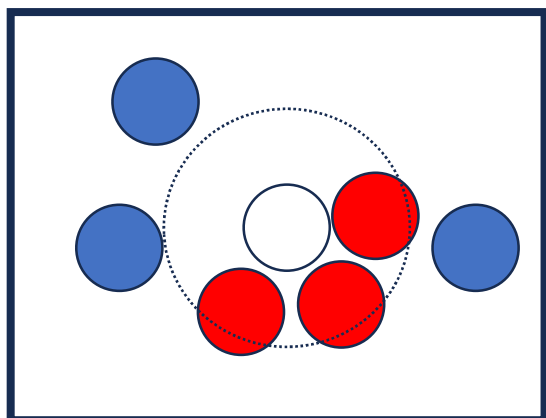
選手はボールを※ターゲットボックスに向かって投球します。

このボールが、ターゲットボックスのラインにふれることなく内側に停止した場合、パナルティボールを投球したチームに、1 点加算されます。

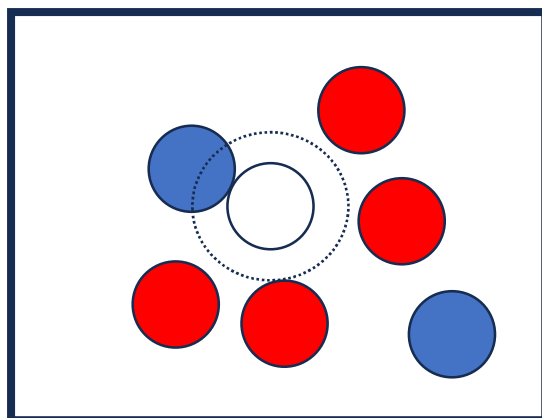
【得点の計算方法】

エンド終了後にジャックボールに最も近いボールを投げた側にのみ点数が入ります。相手側のカラーボールに最も近いボールよりも、ジャックボールに近いカラーボール 1 個につき、1 点が入ります。

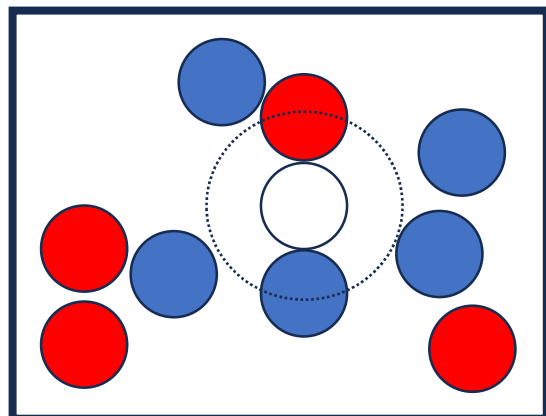
第 1 エンド



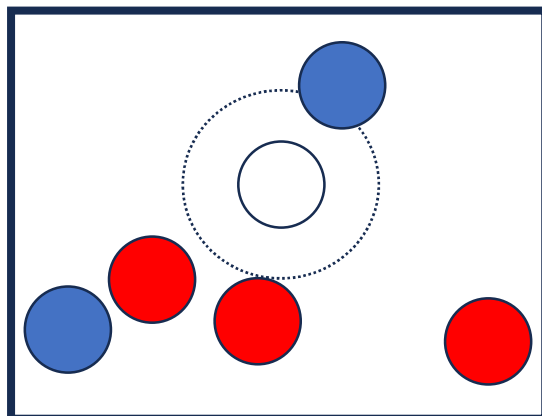
第 2 エンド



第 3 エンド



第 4 エンド



チーム/エンド	第 1 エンド	第 2 エンド	第 3 エンド	第 4 エンド	合計
赤	3	0	1	0	4
青	0	1	1	1	3

4-3 で赤チームの勝利！

【コート】

